

民主島根

2018年
7.1
第1314号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

権力乱用・ウソつき政治ノー！ 安倍政治に終止符を

しまね総がかり 市民と野党が集会ひらく



集まった市民を前に「市民と野党の共闘で安倍政権のウソとゴマカシの政治を終わらせよう」と訴える尾村県議（松江市）

しまね総がかり行動実行委員会は6月19日夕、雨の中、JR松江駅前前で安倍政権の退陣を求める集会を開きました。「安倍内閣は総辞職を」「政治を変える市民が変える」などのプラカードを持った市民ら60人が集いました。



市民と野党から6氏がリレートーク。新日本婦人の会県本部の舟木明美事務局長は、安倍政権の民主主義破壊やセクハラ、人権無視の体質を批判し、「安倍政権を終わらせよう」と訴えました。

6月県議会の論戦から 尾村県議の一般質問 原発稼働は憲法と相容れない

尾村県議は冒頭、「今、島根は大きな岐路に立っている。国内最大級の原発である島根原発3号機の新規稼働によって今後100年近くも原発の危険を抱え、原発依存の島根を続けるのか、それとも、原発と決別して安全・安心の島根の道を進むのか―大きな分かれ道にある」と述べました。

政策決定の根本に、基本的人権を保障した「憲法」と住民の安全を守ることこそ県政の使命と規定した「地方自治法」を据えるべきと要求。「県民の命と安全を守ることには責任を持つ県議として原発稼働に突き進むあらゆる動き、策動は容認できない」と述べ、原発稼働は憲法に反し、「原発ゼロ」を決断するよう求めました。

国が「エネルギー基本計画」は、2030年度の原子力発電割合を、現在の約2%から22%へと、10倍にするもの。これは、原発30基分の稼働に相当し、島根原発2号機再稼働、3号機の新規稼働も含まれています。尾村県議は、福島事故に無反省のまま原発を推進する計画案撤回を国に求めるよう迫りました。

国の「エネルギー計画」撤回を

鼓動 日本津々浦々で撮影された映像を厳選し、4K解像度で映画化した「ピース・ニッポン」が7月14日からT・ジョイ出雲をはじめ、全国ロードショーされる▼8年の歳月をかけて、数年間に一度だけ「一期一会」でしか出会えない美しい瞬間を追い求め、全国47都道府県・200カ所以上で撮影された映像を厳選した、111分の日本を巡る旅となっている▼日本のすべてを遺すプロジェクト「ピース・ニッポン・プロジェクト」の第一弾として公開される今作は、東日本大震災で思い出の景色や建物を失う美しい景色を後世に遺したいとの想いからスタートし、紅葉の中、虹色に輝く那智の滝（和歌山県）、雲海に浮かぶ竹田城（兵庫県）、熊本地震以前の熊本城など、空から捉えた見たことのない絶景の数々を収めている▼自分が通った学校と通学路、駅から見た景色、歴史を物語る建造物、日々目に見えない速度でゆっくりと変化する自然。動画や写真が簡単に、誰でも撮影可能になった今、地震や台風などの自然災害と隣り合わせの日本で生きる私たちが、美しい観光地に加えて、あと少しだけ「私たちが遺したい景色」に時間を使うだけで後世に遺すことができる▼プロジェクトは提唱▼監督を務めた中野裕之氏は「活性化したい地方を支援し、日本に恋する人を増やして日本を元気にしたい」と思って撮影したとコメント。劇中歌の竹内まりやの「いのちの歌」とともに島根県が「一期一会の旅」に入っていることを期待して、劇場に足を運んでみようと思う。（遠）

力あわせ、未来ひらく。 日本共産党演説会

7月15日(日)

●午後2時～
出雲市・朱鷺会館

- 弁士
・笠井あきら衆院議員
(党政策委員長)
- ・大国陽介県議



7月16日(月・祝)

●午前10時30分～
松江市・テルサホール

- 弁士
・小池あきら参院議員
(党書記局長)
- ・仁比聡平参院議員
- ・尾村利成県議

